



勝巖寺通信

第二号発行 日蓮宗仙道山勝巖寺
〒845-0033 佐賀県小城市三日月町樋口637
0952-72-2788



残暑の候、ご健勝にてお過ごしのことと存じます。勝巖寺通信も第三号を発行する運びとなりました。季節の変わり目である立春、立夏、立秋、立冬と、年に四回の発行を予定しております。記事や写真について、皆様からご意見ご感想をいただければ嬉しく思います。

左の写真は、宮城県仙台市の日蓮宗孝勝寺の五重塔です。先々月の6月の東北団体参拝で訪れました。孝勝寺は伊達政宗公と妻振子様により縁のある寺院ですが、東北大震災で大きな被害に見舞われながらも力強く再建されてきました。

東北団体参拝の様子を記事にしておりますのでぜひご覧くださいませ。

九州よりいつも東北の皆様を心よせ、震災復興のために我々も力を合わせてゆきたいと思っております。

合掌九拜

住職 大野義敬



立正安国・お題目結縁運動
いのちに合掌

宮城県石巻市／福島県いわき市東北慰霊団体参拝



6月3日佐賀県内の日蓮宗寺院の檀信徒56名で東北慰霊のため宮城県と福島県を訪れました。2泊3日の日程で被災地と寺院を団体参拝しました。

石巻市日和山公園へ

仙台空港から石巻市へ観光バスで1時間半。石巻市日和山公園に到着しました。石巻市でも被害の大きかった地域を一望できる公園です。家も学校も病院もすべてがなくなり更地になっている景色に一行は言葉も出ませんでした。檀信徒の皆様と行衣をまとい慰霊法要を行いました。

それから石巻市日蓮宗法音寺様による引率のもと、被災地をバスでめぐりながら、震災時のお話をいただきました。

いわき市塩屋岬へ

翌日は福島県いわき市の塩屋

岬に向かいました。美空ひばりさんの『みだれ髪』という歌の歌詞に登場する有名な岬です。塩屋は津波被害が大きかった地域です。

地元の青年による震災のお話を塩屋岬の美空ひばり石碑前のお土産屋さんでお聞きしました。聞いているのも辛くなるほど悲惨なものでした。テレビでは報道されない現実を知りました。

また、東北では石巻市いわき市以外にも数カ所の被災地をバスでまわりました。バスガイドの方も被災地から来られた方で、バスの中でも貴重なお話を聞くことができました。

まずは、被災地の方々のお話をしっかり聞くこと。それが復興のために私達にできる最初のことではないでしょうか。

次回の団体参拝を希望される方は勝巖寺まで。

7月26日（金）松尾山光勝寺 九州教区僧風林（そうふうりん）

小城市松尾山光勝寺にて九州教区僧風林が開催されました。僧風林とは将来僧侶になるための修行道場で、お寺の子どもが対象です。勝巖寺からお手伝いをしてきました。礼儀、作法、法要などの日課は信行道場とほとんど同じで、正座三昧、お経三昧の2泊3日でした。子ども達の修行に取り組む姿勢は真剣そのもので感動しました。



三日月町野外センター第50回日蓮宗少年少女行学道場



7月22日～24日に日蓮宗少年少女行学道場（子どもキャンプ）が開催されました。

43名の一般の子ども達が参加し、佐賀県内の青年僧と2泊3日を過ごしました。勝巖寺からも15名の子ども達が参加。今年は第50回目の開催ということで開校式は松尾山光勝寺で行われ、夏の楽しい思い出ができました。



プール



まとい太鼓



ボーリング



キャンプファイヤー



花火

お勤め／礼儀作法

バーベキュー



お経



競争思考・分離思考をやめませんか？

現代の社会は、究極まで具体化された世界で、それぞれがバラバラに存在し、お互いがお互いの関連性を見出せないで、それぞれが我欲の達成に邁進しています。

ところが、このまま進む先にはなんとなく希望がない。

ちょうど今の日本国内には、震災があり、不景気があり、みんなが縮小するマーケットの中で、競争するより助け合おう、という意識が芽生えたような気がします。

競争は青天井のうちは楽しい。

でも、どれだけ競争しても行き着く先は袋小路であるということを悟れば、突然競争に魅力がなくなる。

いま、国内での企業間競争ほどバカバカしいものはない。

最近、あまりにも増え過ぎた商品を統合して、技術、知識を持ち寄って、みんなが幸せになる方法を考えようよ、って雰囲気が出てきました。

これって、意識が具体化された自我意識から、大転換を起こしつつある兆候ではないでしょうか。

・妙法蓮華經普賢菩薩勸發品第二十八

『若善男子善女人 成就四法 於如来滅後 当得是法華經』

（もろもろの善男子善女人よ。如来がいなくなった時、以下の4つの法を成就することで真実の妙法蓮華經を理解できるであろう）

『一者為諸佛護念』（ひとつ目は、諸佛に護念されているという自覚を持つ）

『二者植諸徳本』（ふたつ目は、もろもろの良き行いを行じる）

『三者入正定聚』（みつつ目は、心を平安に保つ）

『四者發救一切衆生之心』（よつつ目は、全ての衆生を救わんとの心を起こす）

つまり、自分ひとりの成佛を願っても、佛には近づけない。

自分だけでなく、みんなが幸せになるように、の心を抜きにしては、全体が見えないのでしょう。

一切衆生に対する慈悲の心こそが成佛の直道なのかもしれません。

慈悲の『悲』とは、泣いている人と、一緒になって泣いてあげること。

いわば『共感』です。

隣人と自分を違う存在だと分け隔てる心ではなく、『共感』し、意識を『共有』する時代になっていくことを心から祈ります。

（英章）

日蓮宗仙道山勝巖寺

■活動報告

5月23日（木）勝巖寺に長崎団体参拝がありました

5月23日午前10時に、長崎県から法妙寺ご一行様が勝巖寺に団体参拝にきてくださいました。過去、勝巖寺に他の寺院から団体参拝があったのは初めてです。

九州に二幅しか現存しない、勝巖寺の寺宝御本尊の御開帳がおこなわれました。この御本尊は年に2回（4月お経会・11月おえ式）しか御開帳されず、普段は厳重に格護されているため、なかなか勝巖寺の檀信徒以外の方が目にするにはできません。宗祖日蓮大聖人の直筆の御本尊を初めて拝見なさる法妙寺の皆様のご感激もひとしおでした。

朱印を打って真っ赤に染まった行衣は、それだけたくさんの日蓮宗寺院を巡った歴史が詰まっています。



英章上人による法話



江利の道幅の狭い細道に大きな観光バスが入って来られ、お寺は大騒動。



法妙寺副住職の持永上人とともに勝巖寺本堂で法要の後、みんなで記念撮影です。



■お知らせ 8月19日 (月) 盆施餓鬼会

施餓鬼とは、いわゆる合同慰霊祭のようなもので、だいたい仏教の全宗派どこでも行います。輪廻転生を免れない六道の中の三悪道（地獄界・餓鬼界・畜生界）の衆生、とりわけ餓鬼道に堕ちた衆生のために抜苦与楽の供養と、後生の善処往生を祈り、食べ物や法を施します。



自分のご先祖はもちろん、一切の衆生を救うという、遍く広い施しの心を起こすことが重要です。

ちなみに、霊的な障りといわれるものに対し、どんなお祓いよりも、御祈祷よりも、最も効果的なのがこの施餓鬼だと言われています。

8月19日 (月)

11:00～ 施餓鬼法要

12:00～ 御法話

13:00～ 昼食

初盆を迎えられる方は、初施餓鬼会となりますので、必ず御参詣ください。



年間行事カレンダー

2月9日 (土) 10時
初午祭

4月7日 (日) 11時
お経会

7月22～24日
少年少女行学道場／子供キャンプ

8月15日 (木) 20時
盂蘭盆会

8月19日 (月) 11時
施餓鬼会

11月12日 (火) 14時
御会式

12月8日 (日) 11時
鬼子母神／最上位経王大善神大祭

勝巖寺関連サイト

勝巖寺公式ウェブサイト

<http://www.shougonji.org/>

日蓮宗ポータルサイト

<http://www.nichiren.or.jp/>

【大野英章の“昼夜常精進”】

<http://blog.livedoor.jp/toshibadynabook/>

【上田都の“学習我道法”】

<http://blog.livedoor.jp/uedamiyako/>

勝巖寺 フェイスブックページ

<http://www.facebook.com/shougonji>

**サイトは全て手作り！
わかりやすく、見やすいサ
イト作りを心がけています**